

《研修資料別紙①》2018.8.14.現在のマンション共用部火災保険各損害保険会社保険料

所在地:東京都 住宅戸数:70戸 延べ床面積:5,000㎡ 保険期間:5年

建物評価額:7億円 保険金額:4.2億円(付保割合60%) 施設賠償責任保険金額:5億円 個人賠償保険金額:1億円

水災不担保、電気的機械的事故不担保、災害緊急費用(修理付帯費用)特約なし

	A社 ()は無事故割引適用	B社	C社	D社	E社 ()は無事故割引適用
新築	833,880	1,010,020～948,340	1,246,990	905,310	937,520
築5年	1,279,600	1,219,700～948,340	1,577,250	1,263,430	1,170,370 (947,530)
築10年	1,713,360 (1,541,980)	1,575,860～1,107,940	1,972,330	1,790,410	1,692,450 (1,370,070)
築15年	2,329,930 (2,097,040)	8,222,040～1,107,940	2,620,800	2,525,960	2,465,020 (1,994,440)
築20年	3,273,470 (2,946,720)	12,198,460～1,166,740	3,524,710	3,404,730	2,958,100 (2,402,080)
築25年	4,036,340 (3,632,370)	15,709,440～1,166,740	4,667,740	4,425,390	試算困難
築30年	4,818,880 (4,336,370)	19,053,270～1,166,740	5,572,110	4,942,840	試算困難
築35年	4,818,880 (4,336,370)	19,053,270～1,166,740	5,572,110	4,942,840	試算困難
	継続契約前提 築20年以上のマンションは漏水件数により免責金額等、引き受け条件有 保険金額5億円以上、延床面積5,000㎡以上のマンションはリスク診断割引適用あり	マンション管理士によるマンション管理適正化診断あり 診断時点数 最低点(0点)～最高点(100点) 但し現実的には最低点・最高点になることはない	事故件数多数ある場合、高ロス判定となり、引受不可または条件付きとなる 保険金額10億円以上、延床面積10,000㎡以上のマンションは大規模物件に該当し割引あり C社のみ水濡れ原因調査費用1事故100万円限度	築25年から個人賠償・水濡れ原因調査費用免責5万円 更改の場合は築25年以上でも個人賠償・水濡れ原因調査費用免責なしとなる	継続契約前提 築25年からリスクチェックシートにより、免責金額・縮小てん補等個別制約あるため保険料試算困難 保険金額10億円以上、延床面積6,000㎡以上のマンションは特定割引適用あり